



学校統廃合の地区検討協議会の内容は

山田 門左工門議員

基本計画の案を修正など、各地区で
教育部長



▲伊勢湾台風の避難所になった八開中学校

問 小中学校適正規模等並びに老朽化対策協議会が7月より開始されているが、9月末までにわずか2カ月で完了する計画となっている。なぜこれほど急ぐ必要があるのか。

答 本市の中学校の生徒が、一刻も早く一定の学校規模で教育を受ける必要がある。

問 現在行われている協議会の委員20名のうち、女性はわずか2名しかいない。なぜこれほど女性が少ないのか。

答 保護者目線での意見をもらおうと、男性・女性という性別を考慮する必要はないと考える。

問 学校統廃合の地区検討協議会が始まる計画と聞いているが、その内容は。

答 提案された新たな小中学校適正規模等基本計画案を各地区で検討し、内容の確認や、必要に応

じて基本計画案の修正等を進めてもらう。

道の駅 売り上げ減少の影響は

問 道の駅再整備計画が進められているが、現状の道の駅の土地建物の面積、概算の取得費は。

答 施設全体の面積は、1万2700㎡となり約1億7千万円で取得。建物延床面積は、638㎡の施設、約3億3千万円で建築した。その他道の駅駐車場の整備で約2億円となっている。

問 道の駅の経営状況は。

答 指定管理者制度を導入し、立田ふれあいの里運営連絡協議会によって、日常的な管理業務が行われ、包括協定により、毎年度の売上金額の1%、上限額300万円を納めてもらうこと。

問 本市の近隣のホームセンター、J A、スーパーなど、産直を始めており、競争激化で販売額が毎年減り続けている。立田道の駅の再整備計画に影響はないのか。

答 近隣の販売施設の購入層とは異なり、共に地域に貢献できると考えている。また、地域の野菜を紹介する事により、地域振興に寄与することが目的であると考えている。